

2025 さっぽろ雪まつり（第75回）開催結果（大通会場・つどーむ会場）について

2025 さっぽろ雪まつり（第75回）は2月11日（火・祝）をもって閉幕しました。大通会場およびつどーむ会場の来場者数等について以下のとおりお知らせします。

1 会期

大通会場・つどーむ会場：2025年2月4日（火）～11日（火・祝） 【8日間】

2 会場

大通会場：大通公園 大通西1丁目～西11丁目

つどーむ会場：札幌市スポーツ交流施設「つどーむ」

3 観客数

	第75回 (2025年)	第74回比	第74回 (2024年)	第73回 (2023年)	第71回 (2020年)
大通会場	1,770,000人	100.4%	1,763,000人	1,750,000人	1,575,000人
つどーむ会場	557,000人	89.0%	626,000人	—	446,000人
合計	2,327,000人	97.4%	2,389,000人	1,750,000人	2,021,000人

※2021年、2022年（第72回）はオンライン開催

【参考】

第74回開催日程 大通・つどーむ会場：2024年2月4日（日）～11日（日・祝） 【8日間】

第73回開催日程 大通会場：2023年2月4日（土）～11日（土・祝） 【8日間】

第71回開催日程 大通会場：2020年2月4日（火）～11日（火・祝） 【8日間】

つどーむ会場：2020年1月31日（金）～2月11日（火・祝） 【12日間】

4 雪氷像数

大通会場：129基 つどーむ会場：13基

※前回（第74回）大通会場：123基 つどーむ会場：13基

5 各会場の結果について

【全体】

- ・会期前は、1月に記録的な小雪やプラス気温が続いたことで、雪輸送や雪像制作に大きな労力を要したが、2月4日（火）の初日までに大通会場の5基の大雪像や様々な中小雪像、つどーむ会場のチューブスライダーなどが無事完成した。
- ・会期前から会期中にかけて連日テレビ、新聞、インターネットニュース等で多数取り上げられたことや、人気アニメやゲームの雪像等がSNSで発信されたこともあり、多くの市民や観光客が訪れた。
- ・新千歳空港と海外を結ぶ直行便の回復が進んだこともあり、大通会場・つどーむ会場にも多数の外国人観光客が訪れた。

【大通会場】

- ・2月9日（日）は日中から夜にかけて断続的に降雪が続き、最終日の2月11日（火・祝）も午前中から夕方にかけて風雪が強まり来場者数が伸び悩んだが、会期を通じて前回は上回る来場があった。
- ・3丁目「サッポロスマイルひろば」では、西側で「スマイルリンクさっぽろ」をさっぽろ雪まつり会場で初開催し、来場者がスケートを楽しんだほか、東側では水素や太陽光といった環境にやさしいエネルギーのみを使用する「GX・脱炭素エリア」として展開し「環境首都・札幌」をPRした。
- ・毎日17時半以降には5丁目と8丁目の大雪像でプロジェクションマッピングが実施され、昼間とは異なる大雪像の魅力を多くの来場者が楽しんだ。

- ・2月10日（月）には、手稲養護学校三角山分校が病気療養などにより外出できない子どもたちのために遠隔操作ロボットによる雪まつり体験を初めて実施し、遠隔での雪像の見学や大雪像制作隊長のインタビューを行った。
- ・2丁目と9丁目には合計80基の市民雪像が制作された。人気投票の結果、1位は「やべーべやの道」チームの『さっぽろテレビ塔だべや』、2位は「試されるQWV」チームの『OWVの活躍を夢見るライオン』、3位は「きたきつね」チームの『パパでもMVP!』となり、2月9日（日）に、5丁目「道新 雪の広場」ステージで表彰式が行われた。
- ・6丁目では本郷新記念札幌彫刻美術館と連携した彫刻家らによる独創性あふれる雪像彫刻が5基並んだほか、「札幌国際芸術祭」2026年度開催に向けたイベントとして、特設ドーム型テント内での作品の投影や雪かきをテーマにしたオブジェの展示が行われた。
- ・11丁目「国際広場」では国際雪像コンクールが開催され、世界各地から9チームが参加した。出場3回目のモンゴルチームが表現力豊かな雪像『LIFE／人生』を制作し、2連覇を達成した。準優勝はタイ、3位はリトアニアとなった。
- ・2月8日（土）には各丁目で多くのイベントが開催され、7丁目「HBCアイドル祭りステージ」では想定以上の来場者が殺到し、会場に入れない人たちが道路を隔てた歩道まであふれ危険と判断されたため翌日9日（日）も併せ公演を中止とした。

【つどい会場】

- ・チューブスライダーをはじめとする雪のアトラクションを目当てに、土日祝はファミリー層、平日は小学校・幼稚園等の団体や外国人観光客で賑わった。
- ・前回は4年ぶりの開催で1日当たりの来場者数が過去最多となったが、今回の来場者数は曜日並びや、9日（日）・11日（火・祝）の悪天候の影響もあり前を下回った。
- ・2月4日（火）には北海道高等学校文化連盟石狩支部美術部生徒による雪像制作コンテスト「スノーオブジェコンテスト」が行われ、札幌北陵高等学校の『札幌神☆KON KON☆ ～札幌の街に温もりを～』が1位となり札幌市長賞を受賞した。2位は札幌月寒高等学校の『It gets me () .』、3位は札幌厚別高等学校の『イクラでもサケベ！ 鮭勢一変！！(けいせい いっぺん)』だった。